

令和4年度

事業報告書

公益目的事業

I. 高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいつくり支援事業

1. シニアスポーツ大会開催事業

第26回宮城県シニアスポーツ大会の開催

○開催月日 令和4年10月26日(水)

○会場 蔵王町総合運動公園

競技結果

○グラウンドゴルフ

【男子】

第1位 富樫勝悦さん(77) 大郷町 スコア31

第2位 伊藤俊一さん(82) 岩沼市 スコア34

第3位 松浦正志さん(85) 岩沼市 スコア37

【女子】

第1位 小室竹子さん(84) 富谷市 スコア29

第2位 佐藤壽子さん(75) 亘理町 スコア37

第3位 的場洋子さん(83) 村田町 スコア38

○ペタンク

優勝 村田町B(小泉長寿仲良し会)

準優勝 栗原市B(志波姫チーム)

第3位 亘理町A(中泉寿会)

2. 「いきいきクラブ体操」・「ねたきりゼロの10か条」の普及促進事業

○高齢者の健康づくり・生活支援セミナー

全国老人クラブ連合会が主催する「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止された。

3. 健康づくり支援事業

老人クラブ健康づくり研修会開催の支援

高齢期の健康づくり、介護予防及び認知症予防を図るため、各市町村老人クラブ連合会や単位老人クラブ等が行う健康づくり研修会等に対し、専門家の講師を派遣する等の支援を行い、高齢者の健康維持・増進を図った。

研修会の概要は、下表のとおり。

開催月日	会場	参加者数	内 容 講 師
令和4年6月30日(木) ①10:00～11:00 ②13:30～14:45	女川町	①20名 ②30名	「高齢者の低栄養と熱中症」 大塚製薬(株)
令和4年7月22日(金) 10:00～11:50	塩竈市	21名	「フレイル予防で健康づくり」 (一社)宮城県理学療法士会
令和4年7月27日(水) 13:00～14:30	亶理町	30名	同上
令和4年8月29日(金) 13:30～15:00	蔵王町	67名	「笑い与健康」～健康に効く落語の 知られざる効能～ 三遊亭道楽
令和4年11月14日(月) 10:00～11:30	気仙沼市	54名	「フレイル予防で健康づくり」 (一社)宮城県理学療法士会
令和5年2月6日(月) 13:00～14:30	亶理町	30名	同上
令和5年3月2日(木) 13:00～15:00	名取市	102名	同上

II. 市町村老連への活動支援及び全老連等との連携

1. 市町村老連会長・事務局合同会議の開催

(1) 第1回

- 開催月日 令和4年5月16日(水)
- 会場 ホテル白萩 2F 錦の間

(2) 第2回

- 開催月日 令和4年11月22日(火)
- 会場 ホテル白萩 2F 錦の間

2. 市町村老連会長意見交換会

- 開催月日 令和5年1月30日(月)
- 会場 県民会館 601会議室

3. 女性リーダーセミナーの開催

- 開催月日 令和4年12月14日(水)
- 会場 ホテル白萩 2F 錦の間
- ※「シルバーリーダー研修会」と合同開催

4. 老人クラブ大会の開催

創立60周年記念 第42回宮城県老人クラブ大会の開催

- 開催月日 令和4年11月11日(木)

○会 場 七ヶ浜町 国際村

○大会概要

〔オープニング〕 七ヶ浜町老人クラブ連合会

第1部・公 演 マスターズボーカルアンサンブル

第2部・式 典

表 彰 老人福祉事業功労者、優良老人クラブ、社会貢献活動表彰
全国老人クラブ連合会長表彰

祝 辞 宮城県議会議員、七ヶ浜町長、七ヶ浜町議会議員

大会宣言

万歳三唱

5. 市町村老連活動推進助成事業及び会員増強運動

市町村老人クラブ連合会活動の一層の充実を図るため、35市町村老人クラブ連合会に対し、活動費の助成を行った。

活動推進事業（市町村老連活動促進事業費助成金）

（単位：円）

老連名	助成額	老連名	助成額	老連名	助成額
石 巻 市	50,100	七ヶ宿町	3,100	色 麻 町	5,600
塩 釜 市	18,100	大河原町	13,400	加 美 町	前年度分繰越
気仙沼市	14,700	村 田 町	10,600	涌 谷 町	33,900
本 吉 町	10,800	柴 田 町	11,200	美 里 町	19,500
白 石 市	41,000	川 崎 町	14,100	女 川 町	辞 退
名 取 市	24,600	丸 森 町	辞 退	南三陸町	21,500
角 田 市	31,500	亘 理 町	27,700		
多賀城市	20,800	山 元 町	5,000		
岩 沼 市	18,800	松 島 町	14,200		
栗 原 市	105,000	七ヶ浜町	19,800	合 計	
東松島市	27,800	利 府 町	27,400		775,500円
大 崎 市	71,700	大 和 町	56,900		
富 谷 市	17,600	大 郷 町	9,900		
蔵 王 町	18,300	大 衡 村	10,900		

6. 広報活動・資料作成・調査活動事業

(1) 機関紙「MIYAGI県老連だより」の作成と配布

年2回発行。1回の発行部数は約26,000部で老人クラブの全会員に配布した。

通算号数	発行年月日	頁数	主 な 内 容
115号	令和4年 8月25日	12	<ul style="list-style-type: none"> ○会長就任の挨拶 ○女性委員長の挨拶 ○理事会等の開催状況 ○新役員・評議員の名簿 ○活動紹介（四葉会（女川町）） ○厚生労働大臣表彰（東足立長寿会（村田町）） ○自筆証書遺言書保管制度関連記事 ○特殊詐欺被害防止関連記事 ○事務局だより
116号	令和5年 1月26日	12	<ul style="list-style-type: none"> ○新年の挨拶（会長） ○活動紹介（愛称募集・色麻町老人クラブ連合会） ○会員紹介（川崎町裏丁地区双葉会） ○理事会等の開催状況 ○健康づくり研修会の開催状況 ○スペシャルクーポンブックの利用について ○第26回シニアスポーツ大会の開催状況 上位入賞者の紹介及び優勝者コメント ○第42回宮城県老人クラブ大会の開催 各表彰者の名簿及び受賞者のコメント ○自筆証書遺言書保管制度関連記事

(2) 市町村老人クラブ連合会現況調査の実施

県内 35 市町村老人クラブ連合会を対象に、全老連が定めた全国統一の調査を基にして、宮城県老連様式による現況調査を実施した。

報告を受けた集計データは「令和4年度市町村老人クラブ連合会現況調査報告書」（A4判/16頁）にまとめ、各市町村老人クラブ連合会等関係者に配付した。

(3) 老人クラブ会員章普及活動の推進

老人クラブの一員としての自覚を持つために、各研修会等及び行事等において着用する会員章について、普及用リーフレット（A4判/1,400部）を各単位クラブに配付し、購入希望のとりまとめを行った。

(4) 老人クラブ保険加入促進活動の推進

老人クラブ活動中の会員自身のケガを補償する傷害保険及び損害賠償保険の周知のため、研修会等の資料や刊行物に広告を掲載し普及に努めた。

(5) 老人クラブ関係図書、老人クラブ手帳等の頒布斡旋

老人クラブ活動を支援・助成するため、各市町村老連に「老人クラブ活動日誌」

「老人クラブ会計簿」,「老人クラブ手帳」,「老人クラブの歌」(日本福祉芸術協会)等の頒布斡旋や普及活動を実施した。

7. 全老連及び北海道・東北ブロック老連との連携

- (1) 全老連創立60周年記念第51回全国老人クラブ大会

○開催月日 令和4年11月8日(火)

○会場 東京都墨田区 国技館

- (2) 東北ブロック老人クラブリーダー研修会

○開催月日 令和4年7月14日(木)～15日(金)

○会場 青森県上北郡野辺地「まかど観光ホテル」

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- (3) 全国・東北ブロック関係行事への出席状況(8事業)

開催月日	場 所	事 業 名	備 考
令和4年 4月15日(木)	W e b	北海道・東北ブロック老連会長・事務局長会議	
5月31日(火)	東京都	全老連 理事会	欠 席
7月26日(火)	W e b	都道府県・指定都市老連事務局長会議	
8月8日(月)	W e b	都道府県・指定都市老連活動推進員等職員セミナー	中 止
12月2日(金)	東京都	高齢者の健康づくり・生活支援セミナー	欠 席
令和5年 3月2日(木)	東京都	都道府県・指定都市老連代表者会議	
3月14日(火)	東京都	全老連 評議員会	

8. 老人福祉事業功労者・優良老人クラブ・社会貢献活動クラブの表彰

- (1) 老人福祉事業功労者(27名)

老連名	氏 名	老連名	氏 名	老連名	氏 名
石巻市	相澤政助	東松島市	鈴木 栄	大和町	浅野憲治
石巻市	千葉慶志	大崎市	安住勝義	大郷町	村田直喜
気仙沼市	菅野敬子	大崎市	遊佐サダ子	色麻町	高橋秋子
白石市	大槻信子	蔵王町	村上明男	加美町	二瓶宏男

名取市	松浦喜久弥	村田町	二瓶敏雄	加美町	伊藤清人
角田市	太田宏三	丸森町	金澤秀男	涌谷町	小野秀一
多賀城市	千葉正實	亘理町	坂本盛雄	本吉町	佐藤 榮
岩沼市	猪股忠行	松島町	佐藤とも江		
栗原市	糟川秀基	七ヶ浜町	佐藤 勲		
栗原市	菅原 力	利府町	佐藤良子		

(2) 優良老人クラブ (23 団体)

老連名	団 体 名	老連名	団 体 名	老連名	団 体 名
石巻市	川の上老人クラブ 八雲会	栗原市	中町常磐会	七ヶ浜町	汐見台地区友の会
石巻市	長尾松葉老人クラブ	栗原市	西町長命会	利府町	花園むつみ会
塩釜市	大日向鶴寿会	栗原市	宮中地区老友会	色麻町	宿長命会
気仙沼市	崎浜長命クラブ	東松島市	小野長生会	加美町	老壮会城内クラブ
名取市	上余田老人クラブ 寿老会	大河原町	東部長寿会	涌谷町	下郡和老会
角田市	ひだまりクラブ	村田町	なごみの会	女川町	大原北区かがやき 老人クラブ
多賀城市	桜木長寿会	亘理町	森房長寿会	南三陸町	細浦老人クラブ福 寿の絆
岩沼市	朝日長寿会	松島町	磯崎老人クラブ長 生会		

(3) 社会貢献活動クラブ (9 団体)

老連名	団 体 名	老連名	団 体 名	老連名	団 体 名
多賀城市	旭ヶ岡多幸会	栗原市	上富老人クラブ白 寿会	松島町	根廻老人ネーブル 倶楽部
岩沼市	北の町高砂会	栗原市	保呂羽みつわ会	涌谷町	9の1柳和会
栗原市	宮野上町秋葉長生 会	東松島市	東名はまぎく会	女川町	上三区サクラの会

Ⅲ. 高齢者の地域支え合い社会参加活動支援事業

1. 「高齢者相互支援推進啓発事業」

(1) 第15期（令和3・4年度）モデル老連

令和3年度から蔵王町老連、色麻町老連、女川町老連の3町老連が第15期モデル老連として活動した。

(2) モデル老連との連絡会議の開催

開催月日	会場	出席者	内容
令和4年 5月26日(木) 13時～	女川町地域 福祉センタ ー	・各モデル老連会 長，事務局 ・県老連佐藤会長 事務局	報告・協議事項 (1) 高齢者相互支援推進啓発事業 の取組状況について (2) 今後の日程等について (3) その他
令和5年 1月25日(水) 13時～	女川町地域 福祉センタ ー	・各モデル老連会 長，事務局 ・県老連事務局	報告・協議事項 (1) 高齢者相互支援推進啓発事業 の実施状況について (2) 今後の事業日程等について (3) その他

(3) シルバーリーダー研修会の開催（「女性リーダーセミナー」と合同）

開催月日	会場	参加人数	内容
令和4年 12月14日(水) 13時～	ホテル白萩 錦の間	19市町村老連 74名 ・県老連高橋会長 佐藤女性委員長 事務局	講演 ①「高齢者福祉の概要」 宮城県長寿社会政策課 ②「消費者トラブルに逢わないた めに」 宮城県消費生活センター

2. 地域の支え合い・助け合い活動事務手続き支援事業

県等からの活動支援補助金の事務手続や会計処理等について、高齢により負担感や煩わしさが増大し、クラブの活動継続に影響が生じているような場合に、県からの補助を受け、県及び市町村老人クラブ連合会等が事務作業を支援することにより、地域の支え合い・助け合い活動の継続を図るもの。

令和4年度は、令和3年度に実施したアンケート調査で事務処理に関する指導を希望すると回答した41単位老人クラブ（内2クラブはR3年度に実施済み。）の内、18クラブについて市町村老人クラブ連合会が相談及び支援を行ったが、既に7クラブは解散していたとのことだった。

3. 高齢者社会参加促進事業

県からの委託を受け、高齢者の社会参加促進を図るために、高齢者の外出機会を増やし、生きがいと健康づくりを推進し、併せて、老人クラブの新規会員獲得のための特典とするため、地元企業の協力を得て「宮城県老人クラブ特典のお店」（クーポンブック）を26,000部作成し各会員へ配布した。

また、このクーポンブックに関するアンケート調査を実施し、高齢者の外出への意欲の状況や老人クラブ会員の特典に係る感想等の把握を図った。

4. 全国一斉「社会奉仕の日」活動の取り組み事業

(1) 「社会奉仕の日」(9月20日) 全国一斉奉仕活動の展開

全老連及び都道府県・指定都市老連の提唱により、昭和61年から全国三大運動のひとつとして全国一斉奉仕活動が実施されてきた。平成20年度からは、活動内容に「環境に優しい活動」が加えられ、現在は、“きれいな地球を子どもたちへ”をスローガンに、「花のあるまち、ゴミのないまち」を目指した美化活動、環境活動に取り組んでいる。

本県においても、全国共通活動として位置づけられている「老人の日・老人週間」推進要綱に基づき、各市町村老連において地域性を活かした一斉奉仕活動が展開された。

(2) 「老人の日・老人週間」(9月15日～21日) 運動の実施

ア 令和4年「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱とポスターの配付

標語「みんなで築こう 安心と活力のある健康長寿社会」

各市町村老連にキャンペーン要綱と県及び県老連の2者連名によるポスターを配付した。

イ 「老人の日・老人週間」の取り組み

スローガン「仲間と集い、高齢者の元気な姿を示す日(週間)にしよう！」

平成13年の老人福祉法改正により、9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間が「老人週間」に制定された。これに伴い全老連並びに都道府県・指定都市老連が「老人の日・老人週間」推進要綱を提唱し、県内各市町村老連及び単位老人クラブ毎に様々な活動に取り組んだ。

5. 高齢者の事故(交通事故・消費者被害)防止啓発活動事業

(1) 交通安全対策運動の推進

高齢者の交通事故防止を図るため、県交通安全対策協議会に幹事団体として参画するとともに、年間を通じて交通安全運動の推進に協力した。また、交通安全資料等を各種会議、研修会の際に配付するなど交通安全の広報・啓発に努めた。

(2) 生活事故防止活動の推進

特に高齢者が被害となる振り込め詐欺等の事故に対処するため、宮城県警察本部

生活安全企画課からの「特殊詐欺予兆電話情報伝達事案」により詐欺被害防止に努めた。

6. 社会貢献活動事業

(1) 社会貢献活動クラブの表彰（再掲）

「令和4年度宮城県老人クラブ連合会長表彰」として、各市町村老人クラブ及び単位クラブの中から、功績顕著で現在も活動中である団体を表彰した（9団体）。

(2) 特殊詐欺被害防止啓発事業の実施

開催月日	会場	参加者数	内容
令和4年 12月14日(水) 13時～	仙台市 ホテル白萩	74名	「消費者トラブルに逢わないために」 宮城県消費生活センター」

※ シルバーリーダー・女性リーダー合同研修会の開催（再掲）

(3) 日本生命財団「生き生きシニア活動顕彰」の推薦

高齢者が主体となって地域貢献活動等に取り組んだ団体を、都道府県知事が推薦し顕彰されるもの。

令和4年度は県老連から次の3団体を推薦し、顕彰を受けている。

- ・八幡福寿会（多賀城市老人クラブ連合会）
- ・開北みどり会（石巻市老人クラブ連合会）
- ・八沢さわやかクラブ（栗原市老人クラブ連合会）

その他法人の目的を達成するための事業

IV. 法人組織の運営

理事会・評議員会・監事会・正副会長会議等

(1) 理事会の開催（4回）

区分	日時	会場	内容
第25回 理事会	令和4年 6月8日(水)	ホテル白萩 櫓の間	1 協議事項 (1) 役員・評議員の選任について (2) 令和3年度事業報告及び収支決算について 2 その他

第26回 理事会	令和4年 6月28日(水)	ホテル白萩 錦の間	1 協議事項 県老連会長・副会長・常務理事の選任について 2 その他
第27回 理事会	令和4年 9月9日(金)	ホテル白萩 櫓の間	1 協議事項 (1)宮城県シニアスポーツ大会の準備状況について (2)宮城県老人クラブ大会の準備状況について (3)宮城県老連だよりに係る広告募集について (4)会員減少の原因分析について (5)その他 2 その他 会長及び常務理事の職務執行状況について
第28回 理事会	令和5年 3月1日(水)	県民会館 601会議室	1 協議事項 (1)令和5年度市町村連合会分担金について (2)令和5年度事業計画及び収支予算について (3)令和5年度行事予定について (4)法人所在地(事務局)の移転について (5)会員減少に関する対応等について (6)第18回県老連評議員会の招集について 2 その他 (1)会長及び常務理事の職務執行状況について (2)第16期高齢者相互支援事業に係るモデル老連の募集について (3)地域の支え合い・助け合い事務手続き等支援事業について

(2) 評議員会の開催 (2回)

区分	日時	会場	内容
第17回 評議員会	令和4年 6月28日(火)	書面決議	協議事項 (1)県老連役員及び評議員の選任等について (2)令和3年度事業報告及び収支決算について

第18回 評議員会	令和5年 3月17日(金)	書面決議	<p>1 協議事項</p> <p>(1) 令和5年度市町村連合会分担金について</p> <p>(2) 令和5年度事業計画及び収支予算について</p> <p>(3) 令和5年度行事予定について</p> <p>(4) 法人所在地(事務局)の移転について</p> <p>(5) 会員減少に関する対応等について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>(2) 第16期高齢者相互支援事業に係るモデル老連の募集について</p> <p>(3) 地域の支え合い・助け合い事務手続き等支援事業について</p>
--------------	------------------	------	---

(3) 監事会の開催(1回)

区分	日時	会場	内容
監事会	令和4年 6月1日(水)	県老連事務局	<p>監査事項</p> <p>令和3年度事業報告並びに収支決算・経理執行状況について</p> <p>【監査報告書】</p> <p>公益財団法人宮城県老人クラブ連合会の令和元年度事業報告並びに会計決算・経理執行状況について、関係書類及び諸帳簿、証憑書類等を詳細に照合し監査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。</p> <p>また、議事録等に基づき監査したところ、理事の業務執行についても適正と認めます。</p> <p>監事/渡邊榮一、鈴木初雄、佐々木勝利 立会人/佐藤会長 辻市局長、兵藤次長</p>

(4) 正・副会長会議の開催(5回)

区分	日時	会場	内容
第1回 正・副会長会議	令和4年 5月30日(月)	ホテル白萩 梅の間	<p>1 協議事項</p> <p>(1) 県老連監事会について</p> <p>(2) 第25回県老連理事会について</p> <p>(3) 第15回県老連評議員会について</p> <p>2 その他</p>

第2回 正・副会 長会議	令和4年 7月11日(月)	県民会館 405会議室	協議事項 (1)全国老人クラブ連合会長表彰につ いて (2)業務等の諸課題について
第3回 正・副会 長会議	令和4年 9月1日(木)	県民会館 405会議室	1 協議事項 第27回県老連理事会について 2 その他
第4回 正・副会 長会議	令和4年 12月16日(金)	県民会館 604会議室	協議事項 会員減少への対応について
第5回 正・副会 長会議	令和5年 2月15日(水)	県民会館 604会議室	1 協議事項 第28回県老連理事会について 2 その他

(5) 女性委員会の開催 (2回)

区 分	日 時	会 場	内 容
第1回 女性委員会	令和4年 4月20日(水)	ホテル白萩 萩の間	1 協議事項 (1)委員長・副委員長の選任、県老連理 事への推薦及び県老連評議員への推 薦について (2)令和4年度女性リーダーセミナーに ついて (3)会員勧誘活動について (4)女性委員会からの「県老連だより」 への寄稿について 2 報告事項 (1)令和4年度女性委員会事業方針(目 標)と事業計画について (2)各市町村老連広報誌の交換につ いて
第2回 女性委員会	令和5年 1月19日(木)	ホテル白萩 萩の間	1 協議事項 (1)令和5年度事業方針と事業計画につ いて (2)第16期(令和5・6年度)高齢者相 互支援推進啓発事業実施に伴う「モ デル老連」の募集について (3)会員勧誘活動について (4)事務手続き等支援事業について 2 その他

令和4年度

収 支 決 算 書

貸借対照表

公益法人会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	4,269,095	3,403,545	865,550
未収金	999,700	1,999,800	△ 1,000,100
流動資産合計	5,268,795	5,403,345	△ 134,550
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
助成事業関連基金	18,843,096	19,843,096	△ 1,000,000
全社協退職積立資産	13,816,740	13,312,950	503,790
特定資産合計	32,659,836	33,156,046	△ 496,210
(3) その他の固定資産			
什器備品	1	1	0
定期預金	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
その他の固定資産合計	4,000,001	5,000,001	△ 1,000,000
固定資産合計	46,659,837	48,156,047	△ 1,496,210
資産の部合計	51,928,632	53,559,392	△ 1,630,760
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	127,120	125,950	1,170
預り金			
所得税	49,980	53,100	△ 3,120
その他	958	42,168	△ 41,210
流動負債合計	178,058	221,218	△ 43,160
2 固定負債			
退職積立基金引当金	13,816,740	13,312,950	503,790
固定負債合計	13,816,740	13,312,950	503,790
負債の部合計	13,994,798	13,534,168	460,630
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
助成事業関連基金	18,843,096	19,843,096	△ 1,000,000
指定正味財産合計	18,843,096	19,843,096	△ 1,000,000
(うち特定資産への充当額)	(18,843,096)	(19,843,096)	(△ 1,000,000)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	19,090,738	20,182,128	△ 1,091,390
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
正味財産合計	37,933,834	40,025,224	△ 2,091,390
負債及び正味財産合計	51,928,632	53,559,392	△ 1,630,760

正味財産増減計算書

公益法人会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取補助金等	(16,794,000)	(16,793,800)	(200)
受取補助金	14,794,000	14,794,000	0
受取県委託金	2,000,000	1,999,800	200
受取分担金	(2,998,560)	(3,380,210)	(△ 381,650)
受取分担金	2,998,560	3,380,210	△ 381,650
受取寄付金	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
受取寄付金振替額	1,000,000	1,000,000	0
事業収益	(40,000)	(50,000)	(△ 10,000)
事業収益	40,000	50,000	△ 10,000
雑収益	(328,402)	(38,785)	(289,617)
受取利息	43	0	43
雑収益	328,359	38,785	289,574
経常収益計	21,160,962	21,262,795	△ 101,833
(2) 経常費用			
事業費	(17,164,507)	(21,692,761)	(△ 4,528,254)
給料手当	8,180,728	11,053,642	△ 2,872,914
賃金	54,000	40,000	14,000
福利厚生費	1,366,000	1,387,000	△ 21,000
諸謝金	568,130	65,000	503,130
報償品費	243,848	88,176	155,672
旅費交通費	506,592	175,490	331,102
食料費	56,000	0	56,000
役務費	260,600	714,183	△ 453,583
印刷製本費	3,105,029	2,655,112	449,917
助成費	856,260	1,600,000	△ 743,740
賃借料	473,474	1,342,992	△ 869,518
支払助成金	0	210,000	△ 210,000
雑費	1,493,846	2,361,166	△ 867,320
管理費	(5,087,845)	(4,366,438)	(721,407)
給料手当	2,193,125	1,526,064	667,061
福利厚生費	319,340	475,708	△ 156,368
旅費交通費	180,753	67,472	113,281
役務費	704,687	862,569	△ 157,882
印刷製本費	46,200	41,800	4,400
支払手数料	23,760	27,390	△ 3,630
賃借料	395,990	320,240	75,750
職員退職給付費用	504,960	500,280	4,680
支払負担金	384,110	411,000	△ 26,890
雑費	334,920	133,915	201,005
経常費用計	22,252,352	26,059,199	△ 3,806,847
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,091,390	△ 4,796,404	3,705,014
当期経常増減額	△ 1,091,390	△ 4,796,404	3,705,014
2 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,091,390	△ 4,796,404	3,705,014
一般正味財産期首残高	20,182,128	24,978,532	△ 4,796,404
一般正味財産期末残高	19,090,738	20,182,128	△ 1,091,390
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	(△ 1,000,000)	(△ 1,000,000)	(0)
一般正味財産への振替額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0

正味財産増減計算書

公益法人会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
指定正味財産期首残高	19,843,096	20,843,096	△ 1,000,000
指定正味財産期末残高	18,843,096	19,843,096	△ 1,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	37,933,834	40,025,224	△ 2,091,390

事業別正味財産増減計算書

4年 4月 1日から

5年 3月31日まで

公益法人会計

1- 1

(単位：円)

科 目	合 計	公 1	公 2	公益共通	法人会計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取補助金等	(16,794,000)	(10,042,000)	(5,888,000)	(0)	(864,000)
受取補助金	14,794,000	8,042,000	5,888,000	0	864,000
受取県委託金	2,000,000	2,000,000	0	0	0
受取分担金	(2,998,560)	(360,000)	(2,638,560)	(0)	(0)
受取分担金	2,998,560	360,000	2,638,560	0	0
受取寄付金	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	(0)	(0)
受取寄付金振替額	1,000,000	0	1,000,000	0	0
事業収益	(40,000)	(0)	(0)	(0)	(40,000)
事業収益	40,000	0	0	0	40,000
雑収益	(328,402)	(0)	(213)	(0)	(328,189)
受取利息	43	0	0	0	43
雑収益	328,359	0	213	0	328,146
経常収益計	21,160,962	10,402,000	9,526,773	0	1,232,189
(2) 経常費用					
事業費	(21,375,609)	(12,613,302)	(8,762,307)	(0)	(0)
給料手当	10,373,853	5,226,853	5,147,000	0	0
賃金	54,000	54,000	0	0	0
福利厚生費	1,685,340	944,340	741,000	0	0
諸謝金	568,130	558,130	10,000	0	0
報償品費	243,848	121,000	122,848	0	0
旅費交通費	687,345	414,468	272,877	0	0
食料費	56,000	0	56,000	0	0
役務費	965,287	924,817	40,470	0	0
印刷製本費	3,151,229	1,857,174	1,294,055	0	0
助成費	856,260	63,710	792,550	0	0
賃借料	869,464	806,358	63,106	0	0
雑費	1,864,853	1,642,452	222,401	0	0
管理費	(876,743)	(0)	(0)	(0)	(876,743)
給料手当	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0	0

事業別正味財産増減計算書

4年 4月 1日から 5年 3月31日まで

公益法人会計

2- 1
(単位：円)

科 目	合 計	公 1	公 2	公益共通	法人会計
印刷製本費	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
職員退職給付費用	504,960	0	0	0	504,960
支払負担金	36,863	0	0	0	36,863
雑費	334,920	0	0	0	334,920
経常費用計	22,252,352	12,613,302	8,762,307	0	876,743
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,091,390	△ 2,211,302	764,466	0	355,446
当期経常増減額	△ 1,091,390	△ 2,211,302	764,466	0	355,446
2 経常外増減の部					
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,091,390	△ 2,211,302	764,466	0	355,446
一般正味財産期首残高	20,182,128	△ 1,999,800	△ 17,296,247	0	39,478,175
一般正味財産期末残高	19,090,738	△ 4,211,102	△ 16,531,781	0	39,833,621
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	(△ 1,000,000)	(0)	(△ 1,000,000)	(0)	(0)
一般正味財産への振替額	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000	0	0
指定正味財産期首残高	19,843,096	0	△ 27,416,000	0	47,259,096
指定正味財産期末残高	18,843,096	0	△ 28,416,000	0	47,259,096
III 正味財産期末残高	37,933,834	△ 4,211,102	△ 44,947,781	0	87,092,717

財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単価:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	普通預金		
		七十七銀行普通預金	運転資金として	1,826,039
		三井住友信託銀行普通預金	運転資金として	135,389
		七十七銀行普通預金	災害	2,129,609
	七十七銀行普通預金	預り金	178,058	
	未収金			999,700
流動資産合計				5,268,795
(固定資産)				
基本財産				
	預金	七十七銀行 定期預金	保有財産であり、運用益を本会の財源として使用している	10,000,000
特定資産				
	助成事業関連基金	七十七銀行		18,843,096
	退職共済預け金	全国社会福祉協議会	職員共済掛金事業主負担総額	13,816,740
その他固定資産				
	機器備品			1
	基金	三井住友信託銀行		4,000,000
固定資産合計				46,659,837
資産合計				51,928,632
(流動負債)				
	未払い金	全国社会福祉協議会に対する未払金	職員退職金1～3月分	127,120
		仙台北税務署に対する未払金	職員1～3月分税金	49,980
		社会保険事務所に対する未払金	3月分保険料差額	958
流動負債合計				178,058
(固定負債)				
	退職共済引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	13,816,740
固定負債合計				13,816,740
負債合計				13,994,798
正味財産				37,933,834

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方法

(1) 引当金の計上基準

退職積立金引当金は、全国社会福祉協議会職員共済掛金事業主負担総額の100%を計上。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方法の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単価：円)

科 目	前期末残高	当該増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職共済引当金	13,312,950	503,790	0	13,816,740
小 計	13,312,950	503,790	0	13,816,740
合 計	23,312,950	503,790	0	23,816,740

5. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

(単価：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0
小 計	10,000,000	10,000,000	0	0
特定資産				
退職共済引当金	13,816,740	0	0	13,816,740
小 計	13,816,740	0	0	13,816,740
合 計	23,816,740	10,000,000	0	23,816,740

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債券の当期末残高

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単価：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 県補助金	宮城県	0	14,794,000	14,794,000	0	
合 計		0	14,794,000	14,794,000	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単価：円)

内 訳	金 額
指定正味財産から一般会計への振替 (機関誌発行費)	1,000,000

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載してあり省略

2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記に記載してあり省略

監査報告書

令和5年6月1日

公益財団法人 宮城県老人クラブ連合会
会長 高橋 壽一 殿

監事 鈴木 初 雄

監事 猪狩 正 功

監事 菅原 璋 雄

私たち監事は、令和5年6月1日に事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意見疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）、並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類並びに財産目録の監査結果

計算書類並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適切に表示しているものと認めます。